

JR東労組議員団会議第30回定期総会

議員団会員相互の連携と親睦を確認！

11月14日JR東労組本部会議室にて、第30回議員団会議定期総会を開催しました。総会には来賓としてJR総連・永島政治部長、美世志会・上原代表に参加頂きました。

総会では、畠山議員の退任を受け、30年間議員団を担っていただいた思いをお話いただきました。そして、本部・山口委員長が「JR東労組の現状と課題」として問題提起を行いました。議員団会員から理解と共感をいただき、激励を受けました。

議員団の皆さんは、地方の政治とJR東労組運動の両輪で安全・平和な社会実現のために活動を進めていく決意を新たにしました。



2018年度 新役員

| | | | |
|------|--------|------|--------|
| 顧問 | 田城 郁 | 幹事 | 宮川 寿 |
| 顧問 | 金田 貞夫 | 幹事 | 岡田 和則 |
| 顧問 | 松本 敏雄 | 会計監査 | 傳田 ひろみ |
| 議長 | 高橋 美奈雄 | 会計監査 | 柳沢 浩之 |
| 副議長 | 秋村 光男 | | ※敬称略 |
| 事務局長 | 羽田 房男 | | |

11月10日～13日、JR総連主催「第15回日韓青年労働者交流」に全体で24名、JR東労組青年部から10名の仲間が参加しました。
韓国・ソウル市で開催された「全国労働者大会」には、約6万人（主催者発表）の市民や労働者が結集しました。非正規雇用者が年々増加し、成果年俸制や最低賃金の問題がある中で、韓国の仲間たちは、声を上げ続けています。私たちは諦めない気持ちを教訓化しなければなりません。
また、キム・ウォンクハルモニから日本軍「慰安婦」問題について当時の状況を語っていただきました。人が生きるためには、戦争のない平和な社会が必要であり、平和を守るために、私たち若者に未来が託されていることを改めて感じました。

韓国の鉄道で働く若き仲間たちとの意見交換会では、KTX乗務員支部キム・スンハ氏から、復職の実現に向けて12年間たたかってきた報告を受けました。JR総連青年協議会も活動「大敗北」の総括と組織強化・拡大に向けた現状を報告しました。韓国の仲間から「ストライキは仲間がいなければできない。組織全体、組合員一人ひとりの現実を見なければダメだ」「固く連帯していく。ともに頑張ろう！」と指摘や激励をいただきました。
今後も連帯強化のために、仲間と共に奮闘していくことを確認しました。



諦めない、気持ちと仲間の大切さを学び、韓国の若き仲間たちと連帯強化を推し進める！

組合員と乗客の命を守り、安全・健康・働きがいと社会に貢献するJRバスを確立しよう！

11月27日、本部大会議室においてJRバス関東本部「2018政策フォーラム」を開催し、60名の仲間が結集しました。
第一セッションでは「職場からの取り組みで乗客の安全を守る」としたテーマに沿って、バス館山分会から「バス館山の防災の取り組み」、バスセンター分会から「東京駅バス乗り場の路面陥没問題」について提言が発表されました。第二セッションでは「安全・健康・ゆとり・働きがいのある職場をつくる」としたテーマに沿って、バス土浦分会から「常磐道多重衝突事故における原因究明委員会について」、バス佐野分会から「安全研修センターの役割と新入組合員の訓練のあり方」について提言がなされました。その他にもバス本部から問題提起を行い、活発な議論をつくり出すことが出来ました。



特に、バス本部として政策提言の重要性を確認したことは、過去に東京支店の『命の橋』越中島貨物橋りょう改良工事』について提言を行い、職場の継続した取り組みによって数十年かけて実現したことです。
JR東労組として組合員と乗客の命を守ることを最大の価値基軸に据え、長年の活動を通じた取り組みの意義は大きいものと言えます。
そして、今回の提言では常磐道多重追突事故の原因究明委員会報告は、今のJRバス関東の安全姿勢を4M4Eから導き出したことを教訓としなければなりません。会社の表面的な安全対策では、真の原因究

明に至っていないことから再度、団体交渉を申し入れ「在宅休養の考え方」「訓練教育の充実」「要員不足と運行ダイヤの見直し」「仮眠室改善」を求め、その実現に向けて粘り強い交渉を重ねていきます。
18春闘以降、会社からの理不尽な脱退懲罰による組織混乱のなか、職場では管理者からの利益誘導に晒されながらも、JR東労組運動の必要性と強い仲間意識で多くの組合員が踏みとどまっています。安全問題を中心とした政策実現集団を目指しながら、明るく、楽しい魅力ある組織を創ることを通じて、脱退した仲間への再加入や新入社員への新規加入を呼びかけ、19春闘に向けた議論をつくりだします。そして、全組合員の総団結で安全・健康・働きがいがあり、社会に貢献するJRバスを確立していくことを確認しました。

2018年度上期 本部会計監査実施！

11月28日、本部会計監査員による2018年度上期会計監査が実施されました。

監査員からは「帳票類並びに証拠書類は、大変良く整理されており、不正の事実はない」「厳しい財政状況の中、節約の努力が見られる。更なる財政基盤確保のために将来展望を見据え節約に努められたい」という意見がありました。

上期においては全体的な収支は予算通りに執行していますが、組合員の減少により下期は財政の確保が厳しくなることが予想され、会計監査では12月19日に開催する第37回臨時大会で組織・財政の確立の必要性も議論しました。

